

参考資料

- ◆ 多摩・島しょ地域市町村アンケート調査票
- ◆ 多摩・島しょ地域創業希望者アンケート調査票

多摩・島しょ地域における創業支援に関するアンケート調査

1. 貴自治体の創業支援の「現状や今後の意向」について、お伺いします

問1 貴自治体で実施（関与）している創業支援の取組に関し、「現在実施中の取組（A欄）」、「その取組の主体（B欄）」、「今後、実施したい取組（C欄）」について、下表上部の記入要領に従い、記入してください。

取組内容	【必須項目】	【※A欄に該当がある場合のみ】		【必須項目】
	A欄： 現在実施中の取組 ■該当するものすべてに「○」を記入 ■うち、特に力を入れているもの1つに「◎」を記入	B欄： 「現在実施中の取組（A欄）」の主体 A欄に「○」「◎」をつけた取組について、その中心的な企画主体・実施主体として、最も当てはまる下記のB欄の選択肢番号をそれぞれ1つ記入		C欄： 今後実施したい取組 該当するものすべてに「○」を記入
		中心的な企画主体	中心的な実施主体	
1. 低金利融資制度、税制 その他経済的な優遇措置				
2. 起業に伴う各種手続きに係る支援				
3. ビジネスコンテスト				
4. 顧客の確保に係る支援				
5. 人材バンク（技術者や経理人材等）				
6. PCやデスク等が使えるスペースの無償提供				
7. 保育施設支援・家事支援・介護支援				
8. 創業支援に関する相談窓口の設置（自市町村）				
9. 他の公的機関（東京都、中小企業基盤整備機構等）の紹介				
10. 商工会・商工会議所の紹介				
11. 金融機関（信用金庫、銀行等）の紹介				
12. 民間の起業支援者（コンサルタント等）の紹介				
13. 起業・経営に関する講座やセミナー				
14. 起業を共に行う仲間と出会える場所の提供				
15. 先輩経営者による起業指導				
16. インターネット等による起業家が情報交換を行う場所の提供				
17. インターネット等による起業・経営に関する情報提供				
18. その他（具体的に：_____）				

【選択肢群 - B欄：取組の主体】

1. 自市町村－創業支援担当課
2. 自市町村－同課以外
3. 国

4. 東京都

5. 商工会・商工会議所等の経済団体
6. NPO・ボランティア団体
7. 金融機関

8. 金融機関以外の民間事業者

9. 大学・研究機関
10. その他
（具体的に：_____）

2. 創業支援の「目的や課題」について、お伺いします

【※問1のA欄「現在実施中の取組」に該当がある場合のみ回答】

問2 貴自治体が創業支援に取り組む「目的」として、当てはまる選択肢に3つまで「○」をつけてください。

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 就業機会の提供 | 7. 創業者による事業利益の地域への還元 |
| 2. 地域のコミュニティづくりや伝統文化の継承 | 8. 地域の安心安全・福祉医療の充実 |
| 3. 地域住民の生活の充足や質の向上 | 9. 地域の子育て・教育環境の充実 |
| 4. 税収増 | 10. 地域の農地・緑地などの自然資源の活用 |
| 5. 雇用拡大 | 11. その他 |
| 6. 地域産業の振興（地元業者との取引増加など） | （具体的に： _____） |

問3 貴自治体における創業支援の「取組の成果に関する現状認識（実感）」として、最も当てはまる選択肢1つに「○」をつけてください。

- | |
|-----------------------|
| 1. 想定していた成果が十分出ている |
| 2. 概ね想定していた成果が出ている |
| 3. 想定していた成果があまり出していない |
| 4. 想定していた成果が全く出していない |

問3-1 問3をご回答いただいた際、判断の念頭においた「成果」の内容として、最も当てはまる選択肢1つに「○」をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 創業した「企業の存在」や「創業数」 | 4. 創業支援における「申請等の件数」 |
| 2. 創業による「税収増」や「雇用増」 | 5. その他 |
| 3. 創業支援に対する「問い合わせ件数」 | （具体的に： _____） |

問4 貴自治体が創業支援に取り組む上で、「課題」と感じている点として、当てはまる選択肢に3つまで「○」をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 創業希望者がどのくらいいるのか把握できていない |
| 2. 実際に創業を希望する人が少ない |
| 3. 創業支援策の利用者が少ない |
| 4. 重点的に支援したい業種・分野での創業希望者が少ない |
| 5. 予算が十分に確保できていない |
| 6. 担当職員が十分に確保できていない |
| 7. 庁内関係部署との連携・調整が十分にできていない |
| 8. 外部機関との連携ができていない／適切な連携先がない |
| 9. 外部機関との連携が十分に活かせていない |
| 10. 助成など、創業支援の対象者の審査・決定が難しい |
| 11. 創業支援（特にハンズオン支援※）の適切な業務範囲・支援期間が分からない |
| 12. 創業支援の成果が表れていない |
| 13. 創業支援の成果は生じているが、目標達成はできていない |
| 14. 創業支援の効果測定・成果検証の方法が分からない |
| 15. 創業支援をしても、他地域で創業または創業後に転出してしまう |
| 16. 特に課題はない |
| 17. その他（具体的に： _____） |

※ハンズオン支援…事業計画策定や経営に継続的に関与し、課題解決等を支援すること（継続的な専門家派遣を含む）。

問5 貴自治体考える「貴自治体で創業する利点」として、当てはまる選択肢に3つまで「○」をつけてください。

1. 自宅を事務所・店舗に活用し創業することができる	12. 他社との連携が図りやすい
2. 通勤の利便性が高い	13. 相談できる仲間・仲間企業が多い
3. 業務上の交通の利便性が高い	14. 技術者・技能者、有資格者、経験者等を集めやすい
4. 物流の利便性が高い	15. パート・アルバイトを集めやすい
5. 都心からほど良い距離にあり、落ち着いている	16. 新卒者を採用しやすい
6. 生活感があり、地域コミュニティの温かみがある	17. 市場・業界動向や技術に関する情報を入手しやすい
7. 豊かな自然環境があり、景観も良い	18. 知名度や地域のブランド力が高い
8. 地価や不動産の賃貸料が安い	19. 資金調達に有利
9. 対象の顧客（企業・消費者）が多い	20. 市町村等の創業支援が充実している
10. 対象の外注先・協力先が多い	21. その他（具体的に：_____）
11. 大学・研究機関が立地している	22. 特になし

3. 創業支援の「対象」等について、お伺いします

問6 貴自治体において、①「創業数が多いと認識されている業種」、②「創業支援に関する相談や問い合わせが多いと認識されている業種」、③「今後、重点的に創業支援を実施していきたいと考えている業種」について、最も当てはまる選択肢の「番号」をそれぞれ1つ記入してください。

1. 農業、林業、漁業	7. 卸売業、小売業	13. 医療、福祉
2. 鉱業、採石業、砂利採取業	8. 金融業、保険業	14. サービス業
3. 建設業	9. 不動産業、物品賃貸業	15. 該当する業種を把握していない
4. 製造業	10. 学術研究、専門・技術サービス業	16. 創業支援の相談窓口を設けていない
5. 情報通信業	11. 宿泊業、飲食業	17. 重点的に支援していきたい業種はない
6. 運輸業、郵便業	12. 教育、学習支援業	18. その他（具体的に：_____）

↓

記入欄①【創業数が多いと認識されている業種】	選択肢 番号1つ
記入欄②【創業に関する相談や問い合わせが多いと認識されている業種】	選択肢 番号1つ
記入欄③【今後、重点的に創業支援を実施していきたいと考えている業種】	選択肢 番号1つ

↓

問 6-1 「記入欄③」でご回答いただいた「業種」（上記選択肢1～14・18）に対し、今後、貴自治体ではどのような創業支援策を実施していきたいと考えていますか。別紙の選択肢群（別紙 1～18）の中から、当てはまる選択肢の「番号」を3つまで記入してください。

「今後、重点的に創業支援を実施していきたい業種」に対する取組（3つまで）			
⇒ 別紙 選択肢「18.その他」を回答された場合		（具体的に：_____）	

問7 貴自治体における「地域密着型・地域課題解決型の事業（ソーシャル・ビジネス）への創業支援の現状」として、最も当てはまる選択肢1つに「○」をつけてください。

1. ソーシャル・ビジネスに限定した創業支援策を設けている
2. ソーシャル・ビジネスに限定した創業支援策はないが、運用上、重点的・優先的な支援を行っている
3. ソーシャル・ビジネスに限定した創業支援策はなく、他と同様に支援を行っている
4. 現在、創業支援の取組を実施していない

問 7-1 「今後、重点的に支援を実施していきたいソーシャル・ビジネスの分野」として、最も当てはまる
選択肢1つに「○」をつけてください。

1. 農林水産業
2. ものづくり
3. 商業・サービス業
4. まちづくり
5. 観光・交流
6. 子育て・教育
7. 医療・介護・健康
8. 自然環境・エネルギー
9. 文化・スポーツ
10. 安全・安心
11. 重点的に支援していきたい分野はない
12. その他（具体的に： ）

問 7-2 問 7-1 でご回答いただいた「ソーシャル・ビジネスの分野」(上記選択肢 1～10・12)に対し、今後、貴自治体ではどのような創業支援策を実施していきたいと考えていますか。別紙の選択肢群(別紙 1～18)の中から、当てはまる選択肢の「番号」を3つまで記入してください。

「今後、重点的に創業支援を実施していきたい ソーシャル・ビジネスの分野」に対する取組 (3つまで)			
⇒ 別紙 選択肢「18.その他」を回答された場合	(具体的に :		)

問8 貴自治体において、「**創業支援の対象を、女性・シニア・学生 に限定して実施している取組**」はありますか。当てはまる選択肢すべてに「○」をつけてください。また、該当するものがある場合、あわせて**具体的な取組内容**を記入してください。

1. 「女性」に限定した取組を実施している
(例：主婦層の創業支援を主目的とした保育サービスの実施)
2. 「シニア」に限定した取組を実施している
(例：シニアの起業に向けたITスキル向上セミナーの開催)
3. 「学生」に限定した取組を実施している
(例：学生向けのビジネスコンテストの開催)
4. 対象を限定した取組は実施していない（「現在、創業支援の取組を実施していない」を含む）

問9 貴自治体の創業支援が「想定（重視）する対象者〔対象段階〕」及び「実際の利用者」として、最も当てはまる選択肢の「番号」をそれぞれ1つ記入してください。

1. 起業するかどうか自体を検討している人
2. 起業を考えているが、事業内容は漠然としている人
3. 起業を考えており、事業内容が具体化している人【スキルや知識等の習得段階】
4. 起業を考えており、事業内容が具体化している人【起業に係る手続の実施段階】
5. 既に起業している人【起業から1年以内の段階】
6. 既に起業している人【起業から3年以内の段階】
7. 現在、創業支援の取組を実施していない
8. 創業支援策の利用者を把握していない

	記入欄① 【創業支援策が想定（重視）する対象者〔対象段階〕】	選択肢 番号1つ	
	記入欄② 【創業支援策の実際の利用者】	選択肢 番号1つ	

問 9-1 「記入欄①」でご回答いただいた「支援の対象者〔段階〕」（上記選択肢1～6）に対し、今後、貴自治体ではどのような創業支援策を実施していきたいと考えていますか。別紙の選択肢群（別紙1～18）の中から、当てはまる選択肢の「番号」を3つまで記入してください。

「創業支援策が想定（重視）する対象者〔対象段階〕」 に対し、今後、実施したい取組（3つまで）			
⇒ 別紙 選択肢「18.その他」を回答された場合	（具体的に： ）		

問10 貴自治体では、創業支援として助成金の交付や事業活動の拠点（インキュベーション施設など）の貸与等を行う場合、「対象者をどのように審査・決定」していますか。最も当てはまる選択肢1つに「○」をつけてください。

1. 担当部署のみで審査・決定している	・・・問11へ
2. 担当部署が審査し、必要に応じて外部の有識者の助言を得て、決定している	
3. 外部の有識者からなる審査会を設置し、審査・決定している	
4. 審査・決定を要するような創業支援策は行っていない	・・・問11へ
5. 現在、創業支援の取組を実施していない	・・・問11へ
6. その他（具体的に：	）・・・問11へ

問 10-1 問 10 で選択肢「2」または「3」と回答された方にお伺いします。
審査・決定に関わっている「外部の有識者の構成」【具体的な「所属名」（〇〇大学教授／〇〇信用金庫など）、「職種名」（弁理士／公認会計士 など）】について記入してください。

外部の有識者の構成 【所属名や職種名】	
------------------------	--

3. 外部機関との「連携状況・連携意向」等について伺います

問11 貴自治体の創業支援における「外部機関との連携状況」として、最も当てはまる選択肢1つに「○」をつけてください。

1. 外部の支援機関と連携組織（ネットワーク組織等）を作り、連携している
⇒ 連携組織の名称（ ）
2. 外部の支援機関と連携組織は作っていないが、実務面で連携している
3. 外部機関との連携は行っていない（「現在、創業支援の取組を実施していない」を含む）・・・問12へ

問 11-1 問 11 で選択肢「1」または「2」と回答された方にお伺いします。

該当する連携先について、種別ごとに「名称、連携の内容・きっかけ」を記入してください。

連携先の種別	連携先の名称	連携内容	連携のきっかけ
	【回答例】 NPO法人〇〇〇	創業希望者への空き店舗の提供	先行する商店街活性化に関する事業委託を通じ、創業支援分野の連携にまで発展
1. 経済団体 (商工会・商工会議所等)			
2. NPO・ ボランティア団体			
3. 金融機関			
4. 金融機関以外 の民間事業者			
5. 大学・研究機関			
6. その他			

問12 貴自治体が、今後、創業支援を実施するにあたり、「新たに連携をしたい（強化したい）外部機関」として、最も当てはまる選択肢1つに「○」をつけてください。

1. 経済団体(商工会・商工会議所等)	5. 大学・研究機関
2. NPO・ボランティア団体	6. 連携（強化）をしたい機関はない
3. 金融機関	7. その他
4. 金融機関以外の民間事業者	(具体的に:)

問 12-1 問 12 でご回答いただいた「外部の支援機関」(上記選択肢 1～5・7)と連携（強化）し、「どのような取組をしたい」と考えていますか。以下の自由回答欄に記入してください。

例：まちづくりNPOと連携し、地域密着型の創業事業者のサービスに関する広報やイベント等を行うことによるPR支援

問13 貴自治体が、次の創業支援の取組について、今後、外部機関と連携（強化）し実施する場合、どのように「役割分担」をすることが望ましいと考えますか。A～E までの取組について、「外部との連携意向」、また、連携意向がある場合、「業務項目ごとに想定される中心的な主体」として、それぞれ最も当てはまる選択肢1つに「○」をつけてください。

取組内容	外部との連携意向		業務項目	想定される中心的な主体	
	1.連携しない (自市町村単独で実施)	2.連携する		1.自市町村	2.外部の 支援機関
A. 相談、各種手続き に関する窓口業務	1	2 →	企画検討	1	2
			周知・PR	1	2
			実施・運営	1	2
			事業費の負担	1	2
B. セミナー等イベント	1	2 →	企画検討	1	2
			周知・PR	1	2
			開催	1	2
			事業費の負担	1	2
C. 創業希望者・創業者に 対する経済的優遇措置 (助成・融資等)	1	2 →	企画検討	1	2
			周知・PR	1	2
			審査・決定	1	2
			事業費の負担	1	2
D. 創業支援施設 (インキュベーション施設)	1	2 →	企画検討	1	2
			設置・整備	1	2
			周知・PR	1	2
			運営・管理	1	2
			事業費の負担	1	2
E. ハンズオン支援	1	2 →	企画検討	1	2
			周知・PR	1	2
			実施・派遣	1	2
			事業費の負担	1	2

※ハンズオン支援…事業計画策定や経営に継続的に関与し、課題解決等を支援すること（継続的な専門家派遣を含む）。

※「事業費」には、窓口の設置や施設の取得整備に係る費用も含まれます。

4. 産業競争力強化法に基づく「創業支援事業計画の策定状況・意向」について、お伺いします

問14 貴自治体における産業競争力強化法に基づく「創業支援事業計画の策定状況」として、最も当てはまる選択肢1つに「○」をつけてください。

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 策定（認定）済みである | 3. 策定意向はあるが、着手できていない |
| 2. 現在、策定を進めている | 4. 策定意向はない |

問 14-1 問 14 で選択肢「1」または「2」と回答された方にお伺いします。

貴自治体が「策定した理由・策定を進めている理由」として、最も当てはまる選択肢1つに「○」をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 計画策定（認定）上のメリットを活用できるから |
| 2. 外部連携機関からの相談・要請があったから |
| 3. 外部機関と連携（強化）することで創業支援の成果を向上させるため |
| 4. 周辺自治体が計画策定を進めているから |
| 5. 首長の意向 |
| 6. その他（具体的に： _____） |

問 14-2 問 14 で選択肢「3」と回答された方にお伺いします。

貴自治体が策定意向はあるものの、「着手できていない理由」として、最も当てはまる選択肢1つに「○」をつけてください。

- | |
|---------------------|
| 1. 適切な外部連携機関がないから |
| 2. 予算が十分に確保できないから |
| 3. 担当職員が十分に確保できないから |
| 4. 取組のノウハウが不足しているから |
| 5. その他（具体的に： _____） |

問 14-3 問 14 で選択肢「4」と回答された方にお伺いします。

貴自治体が「策定意向がない理由」として、最も当てはまる選択肢1つに「○」をつけてください。

- | |
|-------------------------|
| 1. 計画策定（認定）にメリットを感じないから |
| 2. 創業希望者が少ないから |
| 3. 適切な外部連携機関がないから |
| 4. 予算が十分に確保できないから |
| 5. 担当職員が十分に確保できないから |
| 6. 取組のノウハウが不足しているから |
| 7. 首長の意向 |
| 8. その他（具体的に： _____） |

5. 「創業支援に関するご意見」や「参考にしている自治体や先進事例」等を自由にご記入ください

--

6. ご回答いただいた方のご所属・ご連絡先をご記入ください。

貴市町村・部署・役職名			
ご担当者名			
電話番号		E-mail	

以上でアンケートは終了です。調査へのご協力、誠にありがとうございました。

起業希望者を対象としたアンケート調査

【※ 既に起業している方も、起業する前の状況等を踏まえご回答ください。】

- ◆公益財団法人 東京市町村自治調査会は、市町村の自治振興を図ることを目的に、東京都の全39市町村（多摩・島しょ地域）の総意により設立された行政のシンクタンクとして、当該地域の広域的・共通課題の調査研究などを行っております。
- ◆当調査会では、今年度、多摩・島しょ地域における創業支援の実態について調査を行い、今後、市町村が創業支援の施策を企画実施する際に役立つ実践書を取りまとめることを目指しております。〔共同調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株）〕
- ◆本調査は、多摩・島しょ地域で開催されている創業支援セミナー等にご参加された皆様を対象に、回答へのご協力をお願いしております。ご回答いただいた内容は、統計的な処理に基づく集計・分析や、多摩・島しょ地域における創業支援機関の今後の取組の基礎資料として活用させていただきます。
- ◆各設問について、あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。また、「その内容」、「その理由」などをお尋ねしているものについては、簡単に結構ですので、該当する内容をご記入ください。

1. 起業予定の事業内容、目指す方向性についてお伺いします。

問1 あなたが今回参加した創業支援セミナー等の「名称」「開催日」をご記入ください。

セミナー 名称	セミナー 開催日	月	日
------------	-------------	---	---

問2 現在、構想されている「事業の具体化の状況」として、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 将来的に起業をしたいと考えているが、まだ、事業内容は漠然としている
2. 将来的に起業をしたいと考えており、既に、事業内容が具体化している
3. 起業するかどうか自体を検討している
4. 既に、起業をしている

（注）上記問2で「4. 既に、起業をしている」と回答した方は、問3以降の設問には、「起業する前の状況・立場」を思い出しながらかご回答ください。

問3 現在、構想されている「事業の内容・分野」として、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

また、事業の具体的な内容について、下の記入欄にご記入ください。

- | | | |
|-----------------|---------------------|--------------|
| 1. 農業、林業、漁業 | 6. 運輸業、郵便業 | 11. 宿泊業、飲食業 |
| 2. 鉱業、採石業、砂利採取業 | 7. 卸売業、小売業 | 12. 教育、学習支援業 |
| 3. 建設業 | 8. 金融業、保険業 | 13. 医療、福祉 |
| 4. 製造業 | 9. 不動産業、物品賃貸業 | 14. サービス業 |
| 5. 情報通信業 | 10. 学術研究、専門・技術サービス業 | 15. その他〔 〕 |

事業の具体的な
内容

（例：子供向けのパソコン教室の開業、ネイルサロンの開業、農業レストランの開業）

問4 現時点で考えている起業後の当面の「事業拠点」、「従業員規模」、「事業エリア」のイメージとして、最もあてはまるもの1つにそれぞれ○をつけてください。（選択肢に応じ該当事項をご記入ください。）

- (A) 事業拠点
（当面の拠点） ⇒
- | | | |
|-------|------------------------|--------------|
| 1. 自宅 | 2. 自宅以外〔店舗形態：例、賃貸オフィス〕 | 所在地(市町村名)： 〕 |
|-------|------------------------|--------------|
- (B) 従業員規模
（当面の規模） ⇒
- | | |
|---------------------------|--|
| 1. 従業員は自分1人のみ | 2. 自分以外に従業員を雇用（※従業員として雇用していない家族の「手伝い」等は除く） |
| 採用予定「家族・親戚・友人」 …… 〔人数： 名〕 | 「家族・親戚・友人以外」 …… 〔人数： 名〕 |
- (C) 事業エリア
（当面の範囲） ⇒
- | | | |
|----------------|-------------|---------|
| 1. 事業拠点のある市町村内 | 2. 東京都内 | 3. 首都圏内 |
| 4. 国内全域を対象に活動 | 5. グローバルに活動 | |

問5 あなたの「起業の形態（過去の勤務先との関係等）」として、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. これまで勤めていた企業などを退職し、その企業とは関係を持たない形で起業 【スピンオフ型】
2. これまで勤めていた企業などと緩やかな関係を保ちつつ、独立して起業 【のれんわけ型】
3. これまで勤めていた企業などの方針として、分社化または関連会社として起業 【分社型】
4. これまで勤めていた企業などを退職することなく、兼業・副業として起業 【兼業・副業型】
5. これまで企業などに勤めた経験はなく、独自に起業 【独自型】
6. その他〔具体的に： 〕

問6 あなたが「起業を志した理由」として、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|---------------------|
| 1. 自分の裁量で、仕事がしたいから | 10. 家族との時間を増やすため |
| 2. 年齢に関係なく、働くことができるから | 11. より高い所得を得るため |
| 3. 性別に関係なく、働くことができるから | 12. 社会に貢献したいから |
| 4. 仕事を通じて、自己実現を図るため | 13. 社会的評価を得るため |
| 5. 専門的な技術・知識を活かすため | 14. 就職先がないため |
| 6. 趣味や特技を活かすため | 15. 職場の見通しが暗いため |
| 7. アイデアを事業化するため | 16. 職場の賃金が不満だったため |
| 8. 時間的・精神的ゆとりを得るため | 17. 不動産等の資産の有効活用のため |
| 9. 家事や子育て、介護をしながら柔軟な働き方ができるため | 18. その他〔具体的に： 〕 |

6-1 上記問6で回答されたもののうち、「起業を志した最大の理由」を教えてください。
あてはまる選択肢の番号1つを下の記入欄にご記入ください。

記入欄 【起業を志した最大の理由】	選択肢 番 号
-------------------	------------

問7 あなたが「目指す起業後のスタイル」として、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|------------|
| 1. 主に利益の追求が目的で、社会貢献は考えていない | ・・・問9へ |
| 2. 利益の追求が主だが、社会にも貢献していく | } ・・・次の問8へ |
| 3. 社会貢献が主だが、利益も追求していく | |
| 4. 主に社会貢献が目的で、利益の追求は考えていない | |

問8 上記問7で、選択肢2.～4.を回答された方にお伺いします。

あなたが考えている「起業後の“地域”社会への貢献」として、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|--------------------------|
| 1. やりがいのある就業機会の提供 | 7. 地域の子育て・教育環境の充実 |
| 2. 地域のコミュニティづくりや伝統文化の継承 | 8. 地域の農地・緑地などの自然資源の活用 |
| 3. 地域で生活する人々の生活の充足や質の向上 | 9. その他〔具体的に： 〕 |
| 4. 地域産業の発展に貢献する財・サービス・ノウハウの提供 | } |
| 5. 事業利益の地域への還元 | |
| 6. 地域の安心安全、福祉医療の充実 | |
| | 10. “地域”社会への貢献は、特に考えていない |

問9 あなたが考える「多摩・島しょ地域で起業する利点」として、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1. 事務所・店舗として自宅を活用できる | 12. 他社との連携が図りやすい |
| 2. 通勤の利便性が高い | 13. 相談できる仲間・仲間企業が多い |
| 3. 業務上の交通の利便性が高い | 14. 技術者・技能者、有資格者、経験者等を集めやすい |
| 4. 物流の利便性が高い | 15. パート・アルバイトを集めやすい |
| 5. 都心からほど良い距離にあり、落ち着いている | 16. 新卒者を採用しやすい |
| 6. 生活感があり、地域コミュニティの温かみがある | 17. 市場・業界動向や技術に関する情報を入手しやすい |
| 7. 豊かな自然環境があり、景観も良い | 18. 知名度や地域のブランド力が高い |
| 8. 地価や不動産の賃貸料が安い | 19. 資金調達に有利 |
| 9. 対象の顧客（企業・消費者）が多い | 20. 市町村等の創業支援が充実している |
| 10. 対象の外注先・協力先が多い | 21. その他〔具体的に： 〕 |
| 11. 大学・研究機関が立地している | 22. 特になし |

2. 起業に対する不安・課題等や創業支援に関するご意見をお伺いします。

問10 現在、起業に対して「不安」に感じていることはありますか。

その内容として、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 不安がある・・・下の選択肢の回答後、問11へ

2. 不安はない・・・問11へ

【不安の内容】

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1. 収入の減少、生活の不安定化 | 7. 自分の能力・知識・経験の不足 |
| 2. 事業の成否 | 8. 自分の健康や気力の持続 |
| 3. 社会保障（医療保険、年金等） | 9. プライベートな時間がなくなること |
| 4. 事業に失敗した時の負債の返済 | 10. 人とは異なることに挑戦することへの不安感や孤独感 |
| 5. 事業に失敗した後の再就職（再起業を含む） | 11. その他〔具体的に： 〕 |
| 6. 事業に失敗した時の世間や家族の体面 | |

問11 現在、起業に向けて直面している「課題」はありますか。

その内容として、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 経営知識一般の習得（財務・会計を含む） | 7. 量的な労働力の確保 |
| 2. 事業に必要な専門知識・技術の習得 | 8. 家庭との両立（家事・育児・介護） |
| 3. 事業計画書の作成（資金・損益計画等を含む） | 9. 家族の理解・協力 |
| 4. 資金調達 | 10. 起業に伴う各種手続き |
| 5. 顧客の確保 | 11. 特になし・・・問12へ |
| 6. 質の高い人材の確保（経理、営業、技術等） | 12. その他〔具体的に： 〕 |

11-1 上記問11で回答されたもののうち、「最も大きな課題」を教えてください。
あてはまる選択肢の番号1つを下の記入欄にご記入ください。

記入欄 【最も大きな課題】

選択肢
番 号

問12 起業に関する不安や課題の「相談相手」はいますか。

その内容として、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 相談相手がいる・・・下の選択肢の回答後、問13へ

2. 相談相手はいない・・・問13へ

【相談相手】

- | | |
|---------------------|-----------------------------------|
| 1. 家族・親戚 | 10. 中小企業基盤整備機構（中小企業大学校東京校等） |
| 2. 友人・知人 | 11. 経済産業省やその出先機関 |
| 3. 起業のパートナー（共同起業家） | 12. 民間金融機関（信用金庫、銀行等） |
| 4. 起業仲間や既に起業した先輩起業家 | 13. 政府系金融機関（日本政策金融公庫等） |
| 5. 職場の取引相手 | 14. 税理士・会計士 |
| 6. 職場の同僚・上司 | 15. 中小企業診断士 |
| 7. 商工会・商工会議所 | 16. 経営コンサルタント（税理士・会計士・中小企業診断士を除く） |
| 8. 市町村の創業支援の窓口 | 17. その他〔具体的に： 〕 |
| 9. 都道府県の創業支援の窓口 | |

12-1 上記問12で回答されたもののうち、「最も頼りになった相談相手」を教えてください。
あてはまる選択肢の番号1つを下の記入欄にご記入ください。

記入欄 【最も頼りになった相談相手】

選択肢
番 号

問13 あなたは、どこから創業支援に関する「情報入手」をしていますか。

その内容として、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 各機関の窓口相談	7. フェイスブックやツイッターなどのSNS
2. 講演やセミナー	8. 自治体の広報誌
3. 起業仲間の集まり	9. 商工会・商工会議所、金融機関等の広報誌
4. 自治体のホームページ	10. 新聞・雑誌・業界紙
5. 商工会・商工会議所、金融機関等のホームページ	11. 各機関の担当からの直接の連絡（電話、メール、訪問等）
6. メールマガジン	12. その他〔具体的に： 〕

問14 あなたが起業準備時から起業直後にかけて活用したいと思う「創業支援策」について教えてください。

その内容として、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 低金利融資制度や税制面の優遇措置	10. 金融機関への相談（信用金庫、銀行等）
2. 起業に伴う各種手続きに係る支援	11. 民間の起業支援者（コンサルタント等）への相談
3. ビジネスコンテスト	12. 起業・経営に関する講座やセミナー
4. 顧客の確保に係る支援	13. 起業を共に行う仲間と出会える場所の提供
5. 人材バンク（技術者や経理人材等）	14. 先輩経営者による起業指導
6. PCやデスク等が使えるスペースの無償提供	15. インターネット等による起業家が情報交換を行う場所の提供
7. 保育施設支援・家事支援・介護支援	16. インターネット等による起業・経営に関する情報提供
8. 商工会・商工会議所への相談	17. 特になし・・・問15へ
9. 公的機関への相談（自治体窓口、中小企業基盤整備機構等）	18. その他〔具体的に： 〕

14-1 上記問14で回答されたもののうち、「活用したい上位3つの創業支援策」を教えてください。

あてはまる選択肢の番号1つを下の記入欄にご記入ください。

記入欄【活用したい創業支援策3つ】	選択肢番号	第1位	選択肢番号	第2位	選択肢番号	第3位
-------------------	-------	-----	-------	-----	-------	-----

3. 最後に、あなたご自身についてお伺いします。

問15 あなたの「性別・年齢・居住地」について、あてはまるもの1つにそれぞれ○をつけてください。

(A) 性別 ⇒	1. 男性	2. 女性		
(B) 年齢 ⇒	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代
	5. 50代	6. 60代	7. 70代	8. 80代以上
(C) 居住地 ⇒	〔市町村名： 〕			

問16 あなたの「家族構成」について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

家族構成 ⇒	1. 配偶者あり	2. 小学生以下の子どもあり
	3. 中学生から大学院生の子どもあり	4. 要介護者あり

問17 あなたのこれまでの「就業／事業・企業経営／起業の経験」として、あてはまるもの1つにそれぞれ○をつけてください。また、「経験がある」と回答された方は、差し支えない範囲でその内容についてご記入ください。

(A) 就業の経験 ⇒	1. 現在も働いている（直近まで働いていた場合を含む） 2. 過去に働いていたことがあるが、現在は働いていない 3. 過去も現在も働いたことはない（就業経験なし）
(B) 事業・企業経営の経験 ⇒	1. ある〔事業内容： 〕 2. なし
(C) 起業の経験 ⇒ （※今回の起業を除く）	1. ある〔事業内容： 〕 2. なし

質問は以上です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。
調査票が入っていた「返送用封筒」に封入し、そのまま郵便ポストへご投函ください。